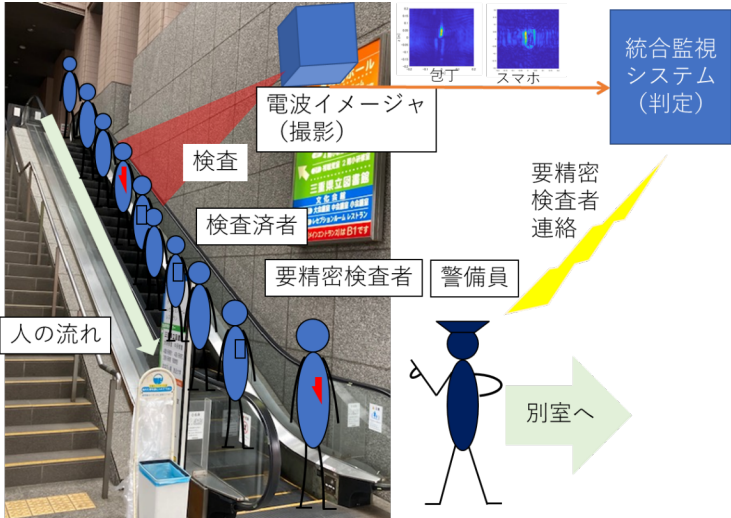


令和4年度交通運輸技術開発推進制度 新規研究課題の概要

採択課題名	沿岸・近海域に於ける小型船舶事故時の人命救出支援を目的とする船舶、ドローンのICT高度利用に関する研究
研究実施者 (※は代表者)	オーシャンソリューションテクノロジー株式会社(※)、 (一財)宇宙システム開発利用推進機構、三菱電機株式会社
概要	<p>○ AIS等の救難機器の搭載が義務づけられていない小型船舶を主対象に、乗員が転落した場合に準天頂衛星みちびきやドローン等の活用によって迅速な救出活動を支援するシステムを開発する。</p> <p>○ 本システムの活用による早期救出により、海難事故による被害者の減少を目指す。</p> <p>①小型船舶 (転落位置把握/転落情報発信) スマートタグ転落検出技術の開発 船舶位置高精度測位技術の開発 航海記録デジタル蓄積技術の開発 (既存転落検出システムとの連携)</p> <p>②救援センター (正確な転落位置情報受信) みちびき高精度測位補強情報 利用配信システムの導入 ドローン機能制御技術の開発 通信手段自動切替技術の開発</p> <p>③救難支援ドローン (発進/救助) 救命具投下/ 音声放送手段の開発 省電力動画/ 自己位置無線 伝送技術の開発 自律飛行システムの導入</p> <p>船舶高精度位置基準 漂流位置予測技術の開発 (②に装備)</p> <p>後15分で船が来るぞ、頑張れ！</p> <p>LTE範囲内通信手段、範囲外の無線通信技術の開発</p>

採択課題名	3次元イメージングレーダーによるセキュリティ検査システムの研究開発
研究実施者 (※は代表者)	海上・港湾・航空技術研究所電子航法研究所(※)、 三重大学、アルウェットテクノロジー株式会社
概要	<p>○ 鉄道をはじめとした公共交通機関等の乗客の多い箇所において、人の流れを妨げることなく、着衣等にて隠された危険物を検出するセキュリティ検査システムを開発する。</p> <p>○ これにより、公共交通機関等の利便性を維持しつつ、安全性の向上に寄与する。</p> 

採択課題名	車両床下点検装置に関する技術開発
研究実施者 (※は代表者)	シャープ株式会社(※)、近畿日本鉄道株式会社
概要	<p>○ 鉄道車両床下の定期検査において目視による検査・点検が行われている項目を対象に、画像処理技術を活用した点検装置を開発する。</p> <p>○ これにより、鉄道事業者の検査における省力化や高頻度での点検が可能になり、限られた人員の中での鉄道輸送の安全性向上に寄与する。</p> 